

令和元年度上半期開示について

1 JAの地域貢献

当JAは、富士宮市を事業区域として、農業を中心に地域の皆様が組合員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営される協同組織であり、農業・地域の活性化に資する地域金融機関です。

皆様からお預りした貯金等の資金は資金を必要とする組合員や地域の皆様などにご融資し、事業や暮らしのお手伝いをさせていただいております。

「地域農業の維持・発展」を経営理念として農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け、金融ばかりでなく総合的に事業活動をしています。また、農業や助け合い活動を通じて、次のように地域社会・文化への貢献に努めています。

ファーマーズマーケット等による食の安全・安心と地産地消の実践、JAふれあい市・朝市・夕市・テレビ・ラジオ・新聞等のメディアを通じての広報活動、福祉活動への貢献、学校食農教育への協力。

2 金融再生法開示債権(単体)

当JAの金融再生法の開示区分に基づく債権額は次のとおりです。
今後も厳格な自己査定を実施し、資産の健全化に努めていきます。

(単位：百万円)

債権区分	令和元年9月末	平成31年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	617	600	17
危険債権	170	169	1
要管理債権	0	0	0
合計	787	769	18

注：1. 令和元年9月末の計数は、令和元年8月末を基準日として行った自己査定結果（債務者区分及び債権額）を基準としています。

2. 各債権の定義は次のとおりです。

- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。信用事業に係る総与信（貸出金、信用未収利息、信用仮払金、債務保証見返、貸付有価証券、外国為替（以下、同様））のうち、自己査定で破綻先及び実質破綻先に区分されたものが該当します。
- ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。信用事業に係る総与信のうち、自己査定で破綻懸念先に区分されたものが該当します。
- ③「要管理債権」とは、3月以上延滞債権（元金又は利息の支払いが、約定支払日の翌日を起算日として3月以上延滞している貸出債権）及び貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権）です。

3 単体自己資本比率

当JAの自己資本比率は令和元年9月末14.77%程度と国内基準4%を大幅に上回る水準を維持しています。

令和元年9月末(見込み)	平成31年3月末
14.77%程度	14.42%

注：1. 自己資本比率とは、貸出金等の総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性、健全性等を表す代表的な指標です。国内のみで営業を行う金融機関には4%以上が求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の額（出資金や利益準備金、積立金、剰余金などの合計額）} \times 100}{\text{リスク・アセット（当JAの所有する預金や貸出金、有価証券その他の資産にそれぞれ定められた一定のリスク・ウエイトを掛けて計算した総額）} + \text{オペレーショナルリスク相当額}}$$

2. 令和元年9月末の自己資本比率の算出にあたり、仮決算の当期剰余金は法人税等見込み額控除前の数値を使用しています。信用リスク・アセットの一部は、令和元年8月末を基準として行った資産自己査定結果に基づいて計算しています。また、オペレーショナル・リスク相当額は、直近決算における数値を使用しています。

4 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	平成30年9月末	平成31年3月末	令和元年9月末
貯 金	162,634	163,624	162,944
貸 出 金	47,462	46,776	46,193
預 金	107,414	111,526	111,715
有 価 証 券	10,753	8,609	8,149

注：平成30年9月末および令和元年9月末の残高は帳簿価格を、平成31年3月末の残高は貸借対照表計上額を表示しています。
平成30年9月末、平成31年3月末及び令和元年9月末の貸出金残高には、県信連に対す劣後ローン1,100百万円を含んでいます。

5 有価証券等の時価情報

(単位：百万円)

	令和元年9月末			平成31年3月末		
	帳簿価額	時 価	含み損益	帳簿価額	時 価	含み損益
満期保有目的の債券	304	306	2	299	304	4

(単位：百万円)

	令和元年9月末			平成31年3月末		
	取得原価	時 価	評価差額	取得原価	時 価	評価差額
その他有価証券	7,846	8,342	495	7,903	8,312	409
株 式	7	10	3	30	27	△ 2
債 券	7,725	8,236	511	7,712	8,139	426
そ の 他	114	95	△ 19	160	144	△ 15

- 注：1. 満期保有目的の債券、その他有価証券で時価のあるものを表示しています。
2. その他有価証券には外部出資を含めて表示しています。
3. 令和元年9月末の含み損益・評価差額は、令和元年9月末時点の帳簿価額・取得原価と時価との差額を表示しております。
4. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。